

政策シート

(政策名) 交通安全対策
(予算費目名) 道路企画費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

- ①市民の交通安全意識の向上
- ②幹線道路における交通事故抑止対策
- ③通学路の交通安全対策
- ④生活道路の交通安全対策

◇関連するSDGsのゴール

①都市								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	4,146,661	3,422,804				
決算	3,365,007					
人件費(A)	51,800	62,531				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,416,807	3,485,335				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
事故危険箇所対策等事故削減対策(51箇所)整備率	%	目標	70	70	70	80	90	100
		実績	50					
道路照明灯LED化更新率	%	目標	80	45	50	55	60	65
		実績	40					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

- ①市民の交通安全意識の向上
- ②幹線道路における交通事故抑止対策
- ③通学路の交通安全対策
- ④生活道路の交通安全対策

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	進んでいる
------	-------

・幹線道路における交通事故抑止対策は、国道152号下池川町交差点から中沢町南交差点区間の工事が完了。
 ・道路照明灯LED化更新事業は、国への予算要求額に対し、国の交付金額の内示が無く、当初の目標値に達することが不可能であったが、劣化した照明柱の更新と合わせた灯具の交換により、道路利用者の安全確保が図られた。
 ・生活道路対策では、3地区の対策を実施した。
 ・通学路の交通安全対策では、グリーンベルトや注意喚起標識の設置等、計78件の対策を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	交通安全施設等整備・修繕事業	○	○	○		3,187,105	3,162,605	3.5				
2	道路照明灯LED化更新事業	○	○	○		142,119	135,000	1.0				
3	交通安全推進事業		○	○		156,111	125,199	4.0			1.0	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,485,335	3,422,804	8.5			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 交通安全施設等整備・修繕事業

◇事業目的・事業対象

・自動車交通分担率が約67%と突出している本市においては、歩行者(高齢者や子ども、障がいのある人等)及び自転車などの交通弱者の安全対策が重要であり、「人優先」の考えの下に安全で安心な道路交通環境の整備を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.35、No.87、No.148、No.195】

- ・幹線道路等の国交付金を活用した「歩道等の整備」及び「交差点改良」、「平面横断化」の実施(継続事業)
- ・幹線道路等の「事故危険箇所」、「交通事故多発交差点」等における事故削減対策の実施(継続事業)
- ・通学路整備要望(市内小学校・幼稚園)による「通学路」等の安全対策の実施(継続事業)
- ・生活道路等の「ゾーン30指定区域」等における歩行者・自転車対策の実施(継続事業)
- ・歩行者と自転車利用空間を分離する等、相互の安全性向上を目的とした自転車通行空間等整備の実施(継続事業)
- ・各区からの交通安全施設の要望に基づく「道路照明灯」、「道路反射鏡」、「防護柵」、「区画線」、「道路案内標識」等の設置及び修繕の実施
- ・限られた予算の中で地域の実情に即した早期の整備効果を発現させるため、現道幅員等を有効に活用したコスト縮減方策(グリーンベルト等)による歩行空間の確保
- ・市単独事業 中規模要望

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S27	-	一般会計	自治事務(法令義務)	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律・交通安全対策、基本法・社会資本整備重点計画 法	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	3,970,712	3,162,605				
	決算	3,155,930					
	国・県支出	429,227	645,515				
	市債	235,600	509,800				
	その他	587	300				
	一般財源	2,490,515	2,006,990				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		17,500	24,500				
人工	正規	2.5	3.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

安全、安心な歩行空間の確保、バリアフリーの推進により、誰もが暮らしやすい快適な生活環境の実現が可能となる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
国道257号連尺交差点外1箇所平面横断化整備率(%)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	60	65	65	65	70	80	100
実績値	50	50					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
事故危険箇所対策等事故削減対策(51箇所)整備率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	60	70	70	70	80	90	100
実績値	40	50					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
自転車通行空間等整備率(%)					-		35
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	60	70	70	70	80	90	100
実績値	45	60					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
JR弁天島駅(国道301号)UD化整備率(%)							195
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		5	10	70	100	100	100
実績値		5					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
通学路整備要望対応率(%)							87
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		60	60	60	60	60	60
実績値		60					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)							148
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	530	335	212	92	46		0
実績値	530	328					

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.35、No.87、No.148、No.195】
 ・幹線道路等の国交付金を活用した「歩道等の整備」及び「交差点改良」、「平面横断化」の実施(継続事業)
 ・幹線道路等の「事故危険箇所」、「交通事故多発交差点」等における事故削減対策の実施(継続事業)
 ・通学路整備要望(市内小学校・幼稚園)による「通学路」等の安全対策の実施(継続事業)
 ・生活道路等の「ゾーン30指定区域」等における歩行者・自転車対策の実施(継続事業)
 ・歩行者と自転車利用空間を分離する等、相互の安全性向上を目的とした自転車通行空間等整備の実施(継続事業)
 ・各区からの交通安全施設の要望に基づく「道路照明灯」、「道路反射鏡」、「防護柵」、「区画線」、「道路案内標識」等の設置及び修繕の実施
 ・限られた予算の中で地域の実情に即した早期の整備効果を発現させるため、現道幅員等を有効に活用したコスト縮減方策(グリーンベルト等)による歩行空間の確保
 ・市単独事業 中規模要望
 [決算3,155,930千円(うち前年度繰越569,166千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度
 計画通り

・幹線道路における交通事故削減対策は、国道152号下池川町交差点から中沢町南交差点間の工事が完了。
 ・通学路の安全対策は、浜松市通学路交通安全プログラムに基づいた各小中学校等の要望について、歩道設置や路肩を利用した歩行空間の改善等、78箇所を実施した。
 生活道路等の「ゾーン30指定区域」等対策については、3地区の対策を実施した。
 ・自転車通行空間等整備については、国道152号下池川町交差点から中沢町南交差点区間と市道中央住吉線において、矢羽根型路面標示の設置が完了した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

交通事故発生状況別に各種事業が展開されており、現状の事業の中で、地域要因等により変化する事故形態に対応し、効果的な対策を実施する。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

ビッグデータを有効に活用し、事故発生原因からの対策のみならず、事故を未然に防ぐ対策に重点をおいていく。

令和2年度

(管理番号)
03 04 03 01 002314000 01(担当課)
道路企画課(責任者)
小林 正人(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日**補助シート** (事業名) 交通安全施設等整備・修繕事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
35	・自転車通行空間整備 工事	・自転車通行空間整備 工事	・自転車通行空間整備 工事	・自転車通行空間整備 工事
87	・通学路整備要望の対 応	・通学路整備要望の対 応	・通学路整備要望の対 応	・通学路整備要望の対 応
148	・中規模要望事業の実 施	・中規模要望事業の実 施	・中規模要望事業の実 施	・中規模要望事業の実 施
195	・JR弁天島駅前(国道 301号UD化(詳細設計)	・JR弁天島駅前(国道 301号UD化工事	・JR弁天島駅前(国道 301号UD化工事	・JR弁天島駅前(国道 301号UD化工事

事業シート (事業名) 道路照明灯LED化更新事業

◇事業目的・事業対象

道路照明灯のLED化により消費電力量の削減に伴うトータルコストの削減(電球の長寿命化による維持管理コストの削減)やCO2排出ガス削減等の環境負荷の低減を図ることを目的とする。
また、安全で円滑な道路交通の確保を図るとともに、倒壊防止など防災上の観点から道路施設の適正な維持・更新を推進するため、経年劣化する道路照明灯の計画的な修繕・更新を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.143】
 ・道路照明灯については、これまで水銀灯や高圧ナトリウム灯設置されていたが、近年の技術開発により消費電力が少なく維持管理コストの削減や環境負荷の低減にもつながるLED灯に更新する。
 ・また、老朽化等により劣化が進んだ支柱について、LED化と併せて更新(交換)する。
●LED化更新対象数量
 道路照明灯更新対象 12,322基(市内全灯) 総事業費 約2,200,000千円
 ・灯具更新 11,892基(LED化のみ)
 ・支柱更新(予定) 430基(LED化+支柱更新)
 事業期間H27~R1(5箇年)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	R1	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	55,000	135,000				
	決算	95,941					
	国・県支出	19,360	42,500				
	市債		38,200				
	その他						
	一般財源						
一般会計繰入金		76,581	54,300				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		10,500	7,119				
人工	正規	1.5	1.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3、11.6
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

消費電力量の削減による電球の長寿命化、CO2排出ガス削減により自然環境の改善に役立つ。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
道路照明LED化更新率(%)					-		143
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	80	80	45	50	55	60	65
実績値	34	40					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>【R1-R4重点戦略項目No.143】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路照明灯については、これまで水銀灯や高圧ナトリウム灯設置されていたが、近年の技術開発により消費電力が少なく維持管理コストの縮減や環境負荷の低減にもつながるLED灯に更新する。 また、老朽化等により劣化が進んだ支柱について、LED化と併せて更新(交換)する。 <p>●LED化更新対象数量</p> <p>道路照明灯更新対象 12,322基(市内全灯) 総事業費 約2,200,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灯具更新 11,892基(LED化のみ) ・支柱更新(予定) 430基(LED化+支柱更新) <p>事業期間H27~R1(5箇年)</p>

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="進んでいる"/></p> <p>・道路照明灯LED化更新事業は、国への予算要求額に対し、国の交付金額の内示が無く、当初の目標値に達することが不可能であったが、劣化した照明柱の更新と合わせた灯具の交換により、道路利用者の安全確保が図られた。</p>
--

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

概ね点検結果に従い、実施の開始ができていますが、LED化が困難な道路照明灯もあり、技術的な実績を積みながら、クリアしていく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

消費エネルギーの省力化の観点では、速やかにLED化したいと考えるが、各年度の必要な予算確保が課題点である。

令和2年度

(管理番号)
03 04 03 01 002314000 02

(担当課)
道路企画課

(責任者)
小林 正人

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 道路照明灯LED化更新事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
143	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新	・LED化更新工事 ・照明灯柱更新
〇〇				

事業シート (事業名) 交通安全推進事業

◇事業目的・事業対象

交通安全に関する知識の普及、交通安全意識の高揚を図るための安全教育並びに交通安全広報活動の実施により交通事故総量の削減を図り、交通事故のない社会を目指す。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.157】

- 交通安全思想の醸成のための事業
 - ・広報啓発活動
 - ・交通安全指導員(子供や高齢者等に対し交通安全教育を行う(市内5署に34人))の設置に対する負担
- 浜松市交通安全計画等の策定
- 浜松市交通事故防止対策会議の運営(事務局事務)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46		一般会計		交通安全対策基本法	—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	120,949	125,199				
	決算	113,137					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	113,137	125,199				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		23,800	30,912				
人工	正規	3.0	4.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

交通事故のない安全な社会を目指し交通事故防止に取り組むことで、交通事故を削減し、誰もが暮らしやすい快適な生活環境を実現する(究極的には交通事故ゼロ)。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
人身交通事故発生件数(件)2020年(R2)までに6,000件以下とする。							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
実績値	7570	6582					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.157】

●交通安全指導員設置負担金を交付し交通安全教育を推進した。シミュレーター等を活用した体験型教室の実施等、高齢ドライバーを対象とした教育の充実を図った。※交通安全指導員設置事業負担金 = 各警察署に配置される交通安全指導員の設置費を県と市で2分の1ずつ負担

●人口10万人あたりの人身交通事故件数ワースト(政令指定都市中)からの脱出を目指し、交通事故の大幅事故削減を図るため、浜松市交通事故防止対策会議交付金を支出するとともに、対策会議及び幹事会を開催し、作戦内容等を協議・決定及び実行した。

●各季の交通安全運動期間 やゼロの付く日(10日、20日、30日)には、交通安全啓発広報(立哨、広報車等)を実施し交通安全意識の高揚を図った。

●交通安全看板、横断旗、のぼり旗、啓発品等を配布した。

●夜間歩行時の事故を防止に向け、自発光式反射材や啓発チラシを配布した。

●関係機関とともに令和元年度の浜松市における道路交通の安全に関し、講じようとする施策等を取りまとめた交通安全実施計画を作成した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・浜松市交通事故防止対策会会議が展開する浜松市交通事故ワースト1脱出作戦において、関係団体が、個別に、また連携して取り組んだことにより、令和元年においては、約1千件(988件)の事故を削減した。作戦期間(H27~令和元年)の5年間で2,333件を削減し6,582件となった。

・数値目標(R2年末までに6,000件を下回る)は未達成ながら、残り1年で達成可能なレベルとなった。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・交通事故に対する忌避意識を醸成するための広報・啓発に取り組んだ。
- ・区及び関係団体と連携して交通安全教室の充実に取り組んだ。
- ・交通安全週間以外にも、積極的に広報車による広報を実施し、直接ドライバーへ交通安全を呼び掛けている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・現在実施中の交通事故忌避意識の醸成に向けた屋外大型ビジョンを活用した啓発やオリジナルのぼり旗を使用した広報などを継続して実施する。
- ・関係団体と連携して交通安全教室交通の充実に取り組む。その取組の一つとして、高齢運転者の事故防止を図るため、可搬型運転適性検査器を追加(1台追加計2台)し、より多くの高齢者運転者に自身の反応などの適正を確認してもらえようとする。

補助シート (事業名) 交通安全推進事業

◇【R1~R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
157	交通安全広報啓発	交通安全広報啓発	交通安全広報啓発	交通安全広報啓発
〇〇				